

2023-2024
週報



RI会長 ゴードン R. マッキナリー
RIテーマ 『世界に希望を生み出そう』
地区ガバナー 高丹 秀篤
地区スローガン 『希望を語ろう』
We are Rotary, together



国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

会長 小林奈保絵 会長レフト 寶積英彦 副会長 高田虎光 幹事 栗原成実

事務所 〒350-1305 狭山市入間川1-24-48
TEL: 04-2952-2277 FAX: 04-2952-2366
E-mail: schuohrc@p1.s-cat.ne.jp HP: https://www.schuohrc.org
例会場 ニックス 〒350-1305 狭山市入間川4-25-3 TEL: 04-2954-9595



[第3グループ 例会日: 新狭山目 入間南 飯能 日高 狭山中央 所沢 新所沢 所沢西 所沢東 所沢中央]

第1355回 (1月19日) 例会の記録

点鐘 小林奈保絵会長
合唱 四つのテスト
第2副SAA 江原会員 稲見会員
出席報告 出席向上委員会 江原伸夫委員長

会員数	出席者数	出席率
19名	14名	87.5%

令和6年1月22日10時00分現在の対応状況は、以下のとおりです。 ※追記箇所は下線部分となります。

1月1日	16時10分、石川県で震度7の地震発生により、情報連絡室を設置 ※県内では、最大震度4(加須市、久喜市)を観測
1月1日	18時30分、県内において被害がなかったことを確認したため、情報連絡室を閉鎖
1月3日	14時49分、県防災航空隊(防災ヘリコプター)が、国の指示により被災地に向けて出動し救助等の活動に従事したが、1月5日、いったん本県に帰投。なお、消防庁からの出動指示は継続しており、今後要請があれば、すみやかに出動できるよう体制整備
1月5日	被災地支援が本格化することから、災害即応室を設置
1月5日	被災地支援のために県庁内に募金箱を設置 ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震における被災地支援のための募金箱の設置について」
1月5日	被災地対口支援として、石川県七尾市への職員派遣を決定 ※1月6日に先遣隊(県職員2名)が出発
1月6日	被災地支援のために大宮競輪場に募金箱を設置 ※西武園競輪場においても、場外車券販売を開始する1月11日から募金箱を設置 ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震における被災者支援のための募金の実施について」
1月7日	0時05分、全国知事会から物資支援要請を受け、石川県志賀町にコーンウェイト100個を運搬開始 ※現地への運搬は、一般社団法人埼玉県トラック協会の協力による。 8時45分、支援トラックが石川県志賀町に到着、支援物資を提供
1月8日	石川県七尾市への支援のため、避難所運営支援業務等を行う職員(県職員2名、市町村職員7名(川越市、川口市、行田市、蕨市、坂戸市、吉川市、三芳町各1名))を派遣(第1次派遣)

会長の時間

小林奈保絵 会長



皆様、こんにちは。
2024年に入って2度目の例会です。
元日におきました能登半島地震ですが、未だ被害の大きさ、全容が分かっておりません。
今は、被害にあわれた方々には、改めて、お見舞いを申し上げます。

るとしか、言いようがありません。
各自治体の応援も入り、阪神淡路大震災や、東日本大震災の教訓が生かされているとの報道がありました。東日本大震災の際に設置された復興庁なども動いているようですが、復興といっても北部の方は、地形そのものが地震で変わってしまっています。
長い長い時間を要するものと思われます。
日本海側で最大級の地震だったという事ですが、専門家の話ではこれで、終わりではないという事です。
そんな中で、埼玉県では、次のような対応がなされていますので、ご紹介します。

	※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震における支援の状況について」				石川県から国土交通省を通じた派遣要請を受け、被災建築物応急危険度判定士の派遣を決定 ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震に係る被災建築物応急危険度判定士の派遣について」
1月8日	石川県から厚生労働省 DPAT 事務局を通じた派遣要請を受け、石川県へ埼玉県災害派遣精神医療チーム(DPAT)を派遣 ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震被害に係る災害派遣精神医療チーム(DPAT)の派遣について」	1月16日			
1月9日	被災者に対する公営住宅の提供を開始 ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震被災者に対する公営住宅の提供について」	1月17日			7時01分、県防災航空隊(防災ヘリコプター)が、国の指示により被災地に向けて出動
1月10日	「令和6年能登半島地震 埼玉県義援金」及び県職員を対象とした「埼玉県職員義援金」の募集を開始 ※「令和6年能登半島地震 埼玉県義援金」に関する詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震 埼玉県義援金」の募集について	1月19日			石川県への支援のため、ブルーシートの物資支援を実施 ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震における物資支援について」
1月11日	石川県から厚生労働省を通じた派遣要請を受け、災害派遣医療チーム(DMAT)計14隊の派遣を決定 ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震に係る災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣について」	1月22日			石川県七尾市への支援のため、避難所運営支援業務を行う職員(県職員10名、市町村職員10名(加須市、本庄市、上尾市、志木市、新座市、越生町、川島町、吉見町、ときがわ町、松伏町各1名)を派遣(第3次派遣) ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震における人的支援について」
1月11日	石川県七尾市への支援のため、段ボールベッド等の物資支援を実施 ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震における物資支援について」	【参考】埼玉県警察の対応状況			
1月12日	被災者に対する県営住宅の提供について県ホームページに掲載 ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震被災者に対する公営住宅等の提供について」	1月1日			埼玉県警察広域緊急援助隊警備部隊(第一次派遣)が被災地に向けて出動(約50人)
1月15日	石川県から厚生労働省を通じた派遣要請を受け、災害派遣医療チーム(DMAT)1隊の派遣を決定 ※活動期間:1月15日~16日	1月2日			埼玉県警察航空隊が被災地に向けて出動。石川県輪島市内等の上空から被災状況調査を実施
1月15日	石川県七尾市への支援のため、避難所運営支援業務を行う職員(県職員10名、市町村職員10名(熊谷市、狹山市、鴻巣市、朝霞市、北本市、富士見市、蓮田市、幸手市、毛呂山町、上里町各1名)を派遣(第2次派遣) ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震における人的支援について」	1月2日			埼玉県警察警備犬部隊が被災地に向けて出動
1月15日	令和6年能登半島地震により甚大な被害を受けた4県の議会に対し、県議会から災害見舞金を贈呈することを決定 ※詳細は以下を参照 「県議会における令和6年能登半島地震被害への見舞金贈呈について」	1月4日			埼玉県警察広域緊急援助隊警備部隊(第二次派遣)が被災地に向けて出動(約40人)
1月16日	石川県から厚生労働省を通じた派遣要請を受け、災害派遣医療チーム(DMAT)計5隊の派遣を決定 ※詳細は以下を参照 「令和6年能登半島地震に係る災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣について【第2報】」	1月5日			埼玉県警察特別機動捜査部隊が被災地に向けて出動(4人)
		1月6日			埼玉県警察広域緊急援助隊警備部隊(第一次派遣)が帰県
		1月6日			埼玉県警察警備犬部隊が帰県
		1月8日			埼玉県警察広域緊急援助隊警備部隊(第二次派遣)が帰県
		1月9日			埼玉県警察広域緊急援助隊刑事部隊が被災地に向けて出動(12人)
		1月10日			埼玉県警察広域緊急援助隊交通部隊が被災地に向けて出動(30人)
		1月11日			埼玉県警察特別生活安全部隊が被災地に向けて出動(6人)
		1月11日			埼玉県警察特別機動捜査部隊が帰県
		1月12日			埼玉県警察特別自動車警ら部隊が被災地に向けて出動(6人)
		1月14日			埼玉県警察広域緊急援助隊交通部隊が帰県
		1月14日			埼玉県警察広域緊急援助隊刑事部隊が帰県
		1月16日			埼玉県警察広域緊急援助隊警備部隊が被災地に向けて出動(約90人)

米山記念奨学生へ奨学金の授与

米山記念奨学生 朱 思遠さんへ
1月分の奨学金 140,000 円をお渡ししました

朱 思遠さんよりひとこと

皆様明けましておめでとうございます。
1か月半ほど例会の出席が出来ずに申し訳ありませんでした。この1か月半をかけて論文の提出に向けて活動しておりました。正直に言いますと、頑張らなければ卒業できない状況だったので必死に頑張りました。そして先週の金曜日、無事論文の提出を済ませました。なるべく例会に出席したいと思いますので、宜しくお願いいたします。



幹事報告

〈 栗原成実 幹事 〉

報 告

- ・ 2月のプログラムが理事会で承認
- ・ 能登半島地震支援金について理事会で以下決定
会員個人負担で 50,000 円を寄付
一人 3,000 円を預り金から徴収
3,000 × 18 名 (休会会員を除く) = 54,000 円のうち
50,000 円を寄付、4,000 円はクラブ雑収入とする
- ・ 「狭山市中学生環境作文コンクールの表彰式」
が 1 月末まで YouTube で視聴可能
<https://youtu.be/yGlrZb92-zl>
(上記 URL は関係者のみ共有のこと)
- ・ 新狭山 RC より「親睦ボウリング大会&親睦会のご案内」
日時：2024 年 2 月 19 日(月) 18:00 より
場所：ボウリング 新狭山グランドボウル
親睦会 焼肉金華苑
費用：10,000 円
- ・ 日高 RC より「チャリティー 大会のご案内」
目的：日高市青少年健全育成支援
日時：2024 年 3 月 15 日(金)
場所：高麗川カントリークラブ
費用：プレー費 15,400 円 (食事・利用料別)
参加費 5,000 円
- ・ 次回例会は 1 月 22 日(月) 18:00 ~ 「狭山市内 2RC 新春合同例会」です。
1 月 26 日(金)の例会は振替によりありませんので、お間違いのないようお願いいたします！

受贈会報

- ・ 所沢中央 RC
- ・ 入間南 RC

回 覧

- ・ バギオだより
- ・ ハイライトよねやま
- ・ 新狭山 RC・所沢 RC より「例会場変更のお知らせ」

委員会報告

- ・ R 情報・雑誌委員会 〈 浜野貴子 委員長 〉
「ロータリーの友 1 月号」の紹介

【横組み】

特集 職業奉仕月間
難しいと思いませんか？職業奉仕 (P7-13)
ロータリー研究会
千さん、おめでとうございます！(P27)
よねやまだより
米山から世界の町へ⑦(P30-39)

【縦組み】

SPEECH 私にとっての四つのテスト (P4-8)
この人訪ねて
坂本應尚さん 東京城西 RC (P9-12)

会員卓話



江原伸夫 会員

四字熟語

こんにちは。
今年年明け早々の元日から能登半島地震があり、冬場の悪天候や未だに続く余震もあって、被災された方々は恐怖や不安の日々を過ごされていることと思います。
そして、翌日 2 日には羽田空港での日本航空と海保機の衝突事故があり、この事故で海上保安庁の方が 5 名亡くなられたことは残念でしたが、日本航空 516 便の乗員・乗客 379 名全員が無事に機体より脱出で

きたことに、海外でも驚きの声が上がっていたとのことでした。

先週の例会での小林会長のお話から、過去の大きな事件が辰年で多く起きている事に、今年この先何が起こるのか多少の不安もありますが、正月2日間に起きたこれらの出来事に対応した、そして今も対応されている方々に畏敬の念を抱いております。

さて本題に戻ります。昨年会員卓話のお話をいただいてから、何をお話ししようか大分悩みましたが、何とか間に合いました。

以前から気になりつつもここ数年はすっかり忘れていましたが、昨年、それぞれの世界で活躍している人たちの話を耳にしたことで思い出したことがあります。

それは、彼ら自身がその時点での自らの心境について四字熟語を用いて語っていたからです。

私は普段の会話であれほど奥の深い四字熟語を用いることはありませんので、今日は私の記憶に残っている四字熟語についてお話しさせていただこうと思います。



気になり始めたきっかけは、若貴兄弟の活躍で相撲界が盛り上がっていた最中、旧二子山部屋所属の若乃花勝・貴乃花光司の兄弟が、大関及び横綱への昇進が決まった力士の伝達式での口上において『四字熟語』を用いていたことが最初でした。

それまでは相撲界に限らず、スポーツの世界では「正々堂々」・「一生懸命」という四字熟語を多くの方が言葉にしていたのでさして気にすることはありませんでした。それを彼ら兄弟が普段使われることの少ない四字熟語を用いてその地位に対する意気込みを表したのには感心した記憶があります。

そして、それ以降今日まで伝達式での『四字熟語』を用いるケースが多く見受けられますが、私の場合は、若乃花勝・貴乃花光司兄弟の用いたものが印象に残っています。

弟の貴乃花は、平成5年1月場所後の大関昇進で「不撓不屈」の精神で相撲道に精進します、平成6年11月場所後の横綱昇進では、今後も「不撓不屈」の精神で力士として相撲道に「不惜身命」を貫く所存でございませぬ、と口上。

兄の若乃花は、平成5年7月場所後の大関昇進では「一意専心」の気持ちを忘れず相撲道に精進します、平成10年5月場所後の横綱昇進では、「堅忍不拔」の精神で精進していきます、と口上。

それまではほぼ決まった形のやりとりで流れていくものと思っていた伝達式での口上に新境地を与えたのは、この兄弟であったのは間違いなく、私が気になり始めたきっかけもこの伝達式での口上を耳にした時でした。

【不撓不屈】: (どんな困難にも負けず、挫折しないで立ち向かうこと。あきらめないうで困難を乗り越える) ということ。

【不惜身命】: (仏法のためには身を惜しまずに捧げることとあるが、彼の使用した意味は、命を惜しまずに相撲道に専念し励むこと) であつたと思う。

よって、横綱貴乃花が昇進の口上で述べた「不撓不

屈の精神で不惜身命を貫く」とは、強い意志を持つてどのような苦境にもくじけないことで、目的を成し遂げるまでは諦めない決意を表すために、自らを高め続ける行動が伴わなければならない、という意思表示であつたと思います。

【一意専心】: (他に心を動かされず、ひたすら一つのこと心に集中すること)

【堅忍不拔】: (かたくこらえてぐらつかないこと。何事にも動じず我慢強く耐え忍ぶこと)

若乃花の横綱昇進の際は、成績面からの疑問の声も少なからずあつたように記憶していますので、きっと、どのような状況にあつても、この地位にいる以上心を乱されることなくじっと耐え、自らの志を保つような人間でありたい、という意思表示だつたと思います。

私の子供時代、小学校入学前後で栃錦・初代若乃花の横綱同士の四つ相撲での熱戦に夢中になっていた頃から、柏鵬時代・輪湖時代プラス初代貴乃花と続き、父と伯父の四股名を継いだこの二人の昇進時の口上は今でも印象深く覚えています。

それでも、その時は感心して暫くは四字熟語の本を探したりしていたのですが、喉元過ぎれば熱さを忘れるとの格言通り、その後なかなか日本人の横綱が生まれぬこともあり、当時の興味も大分薄れ気に掛けることもなくなっていました。

それでも、今から7年前の初場所後(平成29年1月25日)に稀勢の里が横綱となつたときは嬉しかったですね。ただ、彼は横綱昇進時に四字熟語を用いず、「横綱の名に恥じぬよう精進いたします」の口上でした。当時は、それはそれで稀勢の里らしいなと思つたものでした。

話を戻しますが、昨年またその気になる四字熟語が頻りに耳に入るようになってきたのです。

ここからは、再度気になりだしたきっかけについてお話しさせていただきます。



昨年10月11日(水)に京都市「ウェスティン都ホテル京都」でおこなわれた、第71期王座戦五番勝負第4局で、藤井壮太竜王・名人(21)が永瀬拓矢王座(31)に勝ち、3勝1敗で王座を奪取しました。

2002年7月19日生誕の彼は、これにより羽生善治九段(53)の保持していた王座の最年少記録(21歳11ヵ月)を、31年0ヵ月ぶりに更新しました。

また、同時に21歳ヵ月で、史上初となる八冠を達成しました。

2020年7月17日第91期棋聖戦第4局で、高校生棋士の彼が渡辺昭棋聖に勝ち、史上最年少で初タイトルの棋聖を獲得し、翌8月21日には木村一基王位を下し、史上初の10代での二冠達成してから3年4ヵ月で、八冠すべてのタイトルを手中にしました。

そして、11月13日、史上初の「八冠」を達成した功績がたたえられ、内閣総理大臣顕彰が授与されました。将棋界では、1996年に当時、史上初の七冠独占を達成した羽生善治九段以来2人目です。

13日、藤井八冠が盾と賞状を受け取り、そのお礼として木箱に「雲外蒼天」と書かれた将棋盤を岸田総理に手渡したとのことでした。

【雲外蒼天】：「雲の上には青空が広がっているということで、努力してさらに実力を高めていくことで、これまでと違った景色が見えるのかなと」問いかけにそう答えていました。

(どのような試練でも、それらの困難を努力して乗り越えた先には、明るい未来がある) という意味であり、幼い頃から大好きな将棋の世界に入り快挙を成し遂げた後でも、奢ることなく、更なる高みを目指して将棋に向き合う姿勢を表した言葉なのだろうと思います。そして、藤井八冠の四字熟語は2日連続で披露されていました。11月11日、北海道小樽市で行われた竜王戦の第4局で、挑戦者の伊藤匠七段に勝利し、竜王戦3連覇を果たした際、一夜明けた12日の記者会見で「盤上没我」と書かれた色紙を披露していました。

【盤上没我】：「盤上に没頭してすぐ集中して考えるということで、感覚を大事にしていけたらいいかなと思って。今回シリーズでは考えていて、そういう感覚になるところもあったかなと感じたので」

(将棋盤や碁盤などの盤の上で、そのことだけに集中して我を忘れるほど考えること)

そのような境地で臨んでいたことが、この竜王戦を制し、タイトル戦を19連覇し、大山康晴・十五世名人の歴代最多記録に並ぶことができたと思いますし、今後にもさらに記録を伸ばしていって欲しいと思っています。因みに、一昨年の竜王戦で、当時の藤井聡太五冠が広瀬章人八段を4勝2敗で破り、竜王のタイトルを防御した翌日に、鹿児島県指宿市での記者会見で、今後に向けた抱負を「千思万考」と色紙に記し、披露しました。

【千思万考】：(辞書には「あれこれと考えをめぐらすこと。または、その考え」とありますが、藤井五冠はこの言葉を記した思いについて、「1つの変化を深く掘り下げていくことも大事ですが、しっかりと考えて比較することも大事なこと。千思万考は考えを巡らすことなので、長い対局では意識していきたいと思った」と語っています。

彼がプロデビューし、天才と称され、インタビューを受け始めた中学生の頃から印象深く感じていたことは、「望外(望んでいた以上に良い結果)」「僥倖(自らが追い求めていないにもかかわらず訪れる幸せのこと)」といった語彙を使いこなしていたことでした。

相当数の書を読み、その言葉の意味を理解し、瞬時に表現できることに、本当に語彙が豊富だなあと感心しました。残念ながら、私にはとてもあれほどの語彙を使いこなすことはできません。それだけ多くの単語も知りませんし、ましてや語彙力たるものも持ち合わせておりませんので。

日本語の魅力と奥深さにも気づかされましたが、私の人生の3分の1にも満たない彼の言動を見ていて、知識・実力だけでなく、平素から決して奢ることのない振る舞いなど、その一挙手一投足に魅力を感じています。

藤井壮太八段の快挙も「四字熟語」に再度興味を抱かせてもらった一因ですが、去年はスポーツ界も活気づいていましたね。



高校野球甲子園大会で優勝した慶應義塾高校の森林監督はご本人の感性でその都度、次の試合ごとにその試合に合う「四字熟語」のテーマを設定していたそうです。

初戦の2回戦は北陸高校(福井)戦でのテーマは「破顔一笑」。慶応が取り入れるメンタルトレーニングの一つだという。「いい顔をしてまず1笑(1勝)をつかみ取ろう」とかけた。

3回戦の広陵高校(広島)戦でのテーマは「徹頭徹尾」。「チームでやると決めたことを試合の中でも、大阪で過ごす期間でも最初から最後までやりきろう」と。台風の影響で順延となったから使用したらいい。日々、やれることをやる、その繰り返しだという。

準々決勝の沖縄尚学高校(沖縄)戦は「勇往邁進」。大会屈指の好投手・東恩納蒼(あおい)君に果敢に立ち向かう姿勢を求めた。

準決勝の土浦日本大学高校(茨城)戦は「意気衝天」。「体が100%でなくても、点をつかむばかりの気力をもって戦おう」と。

そして決勝の仙台育英学園高校(宮城)戦は、目標をかなえる「大願成就」。「ただ、結果を求めるのではなく、そのプロセス。一つ一つのプレーをしっかりとやりたい。自分たちがやってきた野球を表現するには最高の舞台」と。

結果として、優勝したことで慶応義塾高校の平素からの取り組み方がクローズアップされ、高校野球の今後のありよう・取り組みにも少なからず影響を与えていくものと思っています。



去年は他にも陸上競技・バレーボール・サッカー・バスケットボール・ラグビー・水泳・卓球等、多くのスポーツでワールドクラスの大会が開催され、日本の選手たちの活躍が日本国中を熱狂させてくれました。

その中でも特に野球ファンの私は、侍ジャパンの栗山英樹監督を中心に見事なチームワークで優勝という偉業で幕を閉じたWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)の試合ごとに興奮しておりました。

WBC閉幕後から「刮目相對」、この四字熟語が注目されています。その理由は、日本チームの監督を務めた栗山監督が様々な場面でこの四字熟語を活用しているからです。WBCで優勝し世界一となった侍ジャパンですが、勝因は選手の実力だけでなく、チームの結束力・団結力であったことは誰が見ても明らかではないかと思っています。その原動力となっていたのが、栗山監督であったのではないかと感じています。

この四字熟語は、栗山監督が日本ハムファイターズの監督のころからよく使われてきていて、「目を見開いて、本気で思って、本気でやれば変わろうと思えば人間は3日で変わることができる、成長できる」といつも選手の力を信じて試合に臨んでいたとのことでした。

凱旋後は各メディアに引っ張りだこの栗山監督ですが、各質問に誠実に応対されておりまして、ご自身がその偉業に奢ることなく選手一人一人を称えながら話を進めておられました。日本ハムの監督時代に大谷選手を強行指名した時だけでなく、今まで接してきた人達とは、正面から向き合い思いを伝えてきたから

ニコニコボックス

〈 浜野貴子 副SAA 〉

こそ、選手だけでなくコーチ陣も含め、チーム全員が目標に向かい、取り組む姿勢に信頼と強い絆が生まれ、自信を持って試合に臨んでいたことが、優勝という、日本国中が大きな盛り上がり感動に包まれた結果に繋がったと思っています。

侍ジャパンの監督に就任後、一昨年の(※ NHK の)大リーグのオールスター戦中継でゲスト解説を終えた栗山監督は、大谷への期待の言葉で締め、一筆をリクエストされると『刮目相對』と記しました。そして、その意図を「よく選手に話していること。人間って本気になったら3日間で全然、別人になれるというくらい、人は変われるんだと。大谷という選手は、我々の想像を超える選手だと僕は思っている。また来年に向かって、全然違った姿とか形を見せてくれると信じている。年々進化し続けて、我々を驚かせ続けて欲しい。大谷も3日会わなければ、目を見張る進化を遂げているはず。」と話されておりました。

【刮目相對】: 三国志に出てくる呉の名将。呂蒙の言葉。「刮目して相待つべし」として、『有為の人物というものは、分かれて三日後に会っても目をこすって見直さなければならぬ。必ず進歩しているものだ』と呂蒙が魯肅に言った言葉による。) 人の著しい進歩や成長を待ち望むこと。または、今までとは違う見方をして、相手のことを見直すこと。「刮目」は目をこすった後に、しっかりと見開いて見ること。

同様に栗山監督がよく用いる言葉があります。少年野球の指導の際、或いは日本ハムの監督時代に選手たちに向け話していた言葉が「**凡事徹底**」です。日本ハムの監督時代もそしてWBCでも侍ジャパンのコーチを務めた白井ヘッドコーチも『**凡事徹底**』こそが優勝の決め手となったと言い、侍ジャパンはチームビルディングの最高のモデルケースと話したそうです。

昨年12月1日のクラブ協議会で寶積会長エレクトが、(目標を具現化していくために必要な行動というのが、ご自身の好きな言葉として「**凡事徹底**」である。)と話されていました。

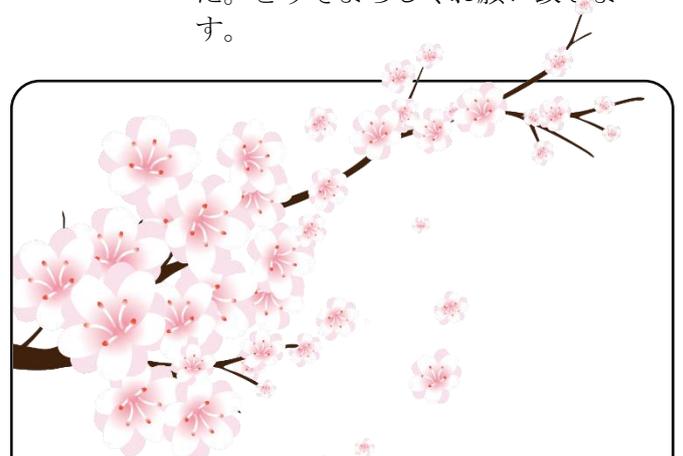
【凡事徹底】: ごく平凡なことを徹底してやり抜くという意味。物事を成し遂げるには、当たり前のことを当たり前にできるか、徹底してできるかにかかっているということ。または、当たり前のことを極めて他人の追従を許さないこと。

今年は7月26日から8月11日の予定で夏季(パリ)オリンピックが開催されます。全ての参加者の競技に取り組む(過程も含め)姿勢から、被災者の皆様はもとより多くの人々に希望を感じて欲しいと願っております。個人的には、新たな四字熟語が選手たちから聞こえてくる事を期待しています。

今回の卓話は「四字熟語」を選択し、記憶をたどりつつ調べ、お話しさせていただきましたので、役に立つような話になったかどうか、不十分な面が多々あると思っています。

ありがとうございました。

- 小林会員 今日青空をみると明日からの雨の予報がうそのようです。本日は江原会員の卓話です。よろしくお願い致します。
- 江原会員 本日の卓話の時間を設けていただきました。内容の是非は問わずにお聴きいただければ幸いです。宜しくお願い致します。
- 浜野会員 本日の卓話、江原パスト会長、お話しを楽しみに来ました。宜しくお願い致します。朱さんいらっしゃい。
- 小島会員 会員卓話、江原パスト会長、お話し楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。
- 田端会員 江原パスト会長、本日の卓話宜敷くお願い申し上げます。本日も早退させていただきます。宜敷くお願い申し上げます。
- 渡邊会員 本日の会員卓話は江原パスト会長と言う事で楽しみにしておりました。どうぞよろしくお願い致します。



◆ 次の例会 ◆

- 1月26日(金)
例会取り止め
- 2月2日(金)
第2副SAA: 柴田会員 小島会員
外来卓話: 狭山市都市建設部次長
伊藤敦朗様
- 2月9日(金)
第2副SAA: 宮岡会員 沼崎会員
外来卓話: 狭山警察署
生活安全課課長 小池様
警務課課長 山崎様